

7月  
29日

# 安倍元首相撲たれ死



写真:元海自隊員の演説の模様(左)、奈良市長(右)(撮影:山本)

八日前十一時半頃、奈良市の近畿大和西大寺駅前で参院選の街頭演説をしていた国民党の安倍晋三元首相が銃撃された。安倍氏は搬送先の病院で午後五時三十分に死亡した。首に丸新や心臓などに複数があり、失血死とみられる。奈良県警は元海上自衛隊員の無職山上義也容疑者(31)、奈良市大宮町二丁目一を殺人未遂容疑で現行犯逮捕し、銃も押収した。県警によると「特定の団体に恨みがあり、安倍元首相の団体がつたからといふも思ふ、ひどく犯行に及んだ。政治団体に対する恨みではない」と供述。容疑を認めてしている。=関連28・29・30・31・32・33面、論説10面

## 参院選 奈良で演説中の元海自隊員を逮捕

11/9 早稿

で足跡を残した。

安倍氏は首相に一度就任した。通算の在職期間は三千百八十八日、一度目は連続二千八百二十一日で、いずれも歴代最長。テフレ脱却と経済再生を目指す「アベノミクス」の推進や、集団的自衛権の行使を容認した安全保障関連法を成立させたなど、内政、外交両面

には相次いだが、戦後では首相経験者が殺害された例はない。国政選挙の投票日二日前に演説中の元首相が凶弾に倒れるという前代未聞の事件となつた。

奈良県警によると、山上容疑者が使用したのは手製の銃とみられる。県警は容疑者宅から別の手製の銃のようなるものを数丁押収。爆発物の可能性がある物も見つかつた。

与野党からは、演説活動を封じる卑劣な行為と非難の声が相次いだ。安倍氏は山口県出身で、母方の祖父が岸信介元首相、父方の祖父が安倍寛元。九二年衆院選で「父の後を

継いで初当選した。小泉政権で自民党幹事長、官房長官に重用され、一〇〇六年九月に当選五回、戦後最少の五十二歳で第九十代首相に就任。初の戦後生まれの宰相となつた。参院選敗後の一〇七年九月、健康状態の悪化を理由に辞任した。民主党政権時の一二年九月、党總裁に再登板。十二月の衆院選で政権奪還を果たし、首相に返り咲いた。国会、党の政権基盤は強固で「安倍一強」と呼ばれ、保守・タカ派色の強い政策を進めた。一四年七月に集団的自衛権行使容認を閣議決定。一五年九月に安保関連法を成立させ、戦後日本の安保政策の大転換を図つた。憲法改正を志向し、一七年五月に九条への自衛隊明記を提唱したが、安倍政権では実現しなかつた。二〇〇九年に体調悪化のため退陣。その後回復し、二一年十一月には自民党安倍派の

